

図書室における新型コロナ感染対策

教務部（図書） 稲野 恵

1. 再開方法

本校図書室は、6月の全学年での学校再開後、段階を踏んで少しずつ利用を再開した。再開当初は予約した3年生のみ5人までという利用制限を行い、7月には利用人数を10人に増やして2年生、1年生へと順に利用を拡げた。二学期以降は自習スペースの利用も再開し、感染対策をしながら、ある程度新型コロナ拡大前の利用状況に戻りつつある。ただし、密を避けるため、クラス単位での利用ははまだ制限をかけている状態である。

2. 設備

図書室入り口では確実に手指の消毒を行うよう、通路を制限している。自習スペースでは、以前より座席数を減らした。自習スペースは、掃除時間の拭き掃除と開室後すぐの消毒による感染対策を行っている。自習スペースの机は照明付きのキャレルデスクなので、生徒同士が対面の形にはならないようになっている。カウンターにはアクリル板を設置している。

3. 資料の取り扱い

貸出した資料については、3日間図書室で保管してから棚に戻している。貸出していない資料については、手指消毒をしてから利用しているので、この限りではない。図書室内とカウンターの混雑を避けるため、返却のみの場合は入室せず、図書室入り口に配置したブックトラックに返却することも可とした。

4. 1年生の図書室オリエンテーション

例年は4月当初に1クラス1時間ずつ図書室オリエンテーションを行っている。しかし、クラス単位で利用を制限している以上オリエンテーションを行うことはできない。そこで、図書室オリエンテーション動画を作成し、各クラスで視聴後1年生の利用を開始した。しかし、一度も足を運んだことのない図書室であった上、その時は利用表での人数制限をかけていたので、利用制限解除後もなかなか1年生の利用者は増えなかった。そこで、秋の読書週間の時期に1年生は必ず1冊以上借りることとして、全員に図書室に足を運んでもらうことにした。人が多くなりすぎないように、20人ずつ日程を決めて貸出を行った。読書週間で一度図書を借りたことに加え、総合的な学習の時間における進路学習のために図書室を利用するよう学年で働きかけていただいたおかげで、1年生の利用は増えた。

5. 今後の課題

本校図書室は窓が少なく空気が滞留する場所がある。図書室全体の空気を循環させ、クラス単位での調べ学習など、学習する場としての図書室をどのように再開していくかが、今後の課題である。